

科目名	保育の計画と評価		
担当講師	都丸 千寿子	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 30 時間・2 単位	開講学年	第 2 学年 前期
評価基準	筆記試験 (70%)、授業への参加意欲・提出物 (30%)		
目標	1、カリキュラムの変遷を学び、就学前教育に必要なカリキュラムについて理解する。 2、教育課程編成の考え方・手順・評価を学び、PDCA の考え方を理解する。 3、具体的な指導計画の立案について学び、長期の計画をもとに、子どもの実態に即した短期の指導計画を立案する。 4、保育記録を基に自己評価を行い、次の保育を考える。		
回	講義内容	方法	
1	保育における計画と評価の意義、カリキュラムの基礎理論 (カリキュラムとは何か、保育のカリキュラムの特性)	講義	
2	教育課程・保育課程の歴史と変遷	講義	
3	社会の変化と保育に求められるもの	講義	
4	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育の計画 (1) (幼稚園における計画)	講義・演習	
5	幼稚園・保育所・認定こども園における教育・保育の計画 (2) (保育所・認定こども園における計画)	講義・演習	
6	教育課程の編成の実際	講義・演習	
7	子ども理解に基づく計画と評価	講義・演習	
8	指導計画におけるねらいと内容	講義・演習	
9	指導計画の作成と展開 (1) (指導計画の基本)	講義・演習	
10	指導計画の作成と展開 (2) (3 歳未満児)	講義・演習	
11	指導計画の作成と展開 (3) (3 歳以上児)	講義・演習	
12	指導計画の作成と展開 (4) (その他の計画)	講義・演習	
13	保育の省察および記録 (子ども理解と記録の重要性、子どもの育ちを理解する記録、次年度や小学校に繋ぐ記録)	講義・演習	
14	保育の評価と改善 (振り返ること・PDCA サイクル)	講義	

15	まとめ・テスト	テスト
テキスト・参考書	テキスト 書名「保育の計画と評価」(萌文書店) 参考書 「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型 認定こども園教育・保育要領解説」(フレーベル館)	